

動き出した日本版NSC！ 〈安保戦略〉積極的平和主義を理念に中国対応重視？

政府は17日午前の国家安全保障会議で（日本版NSC）と閣議で、外交・防衛政策の基本方針となる「国家安全保障戦略」を初めて決定した。安倍晋三首相が打ち出した「積極的平和主義」を外交・安保政策の基本理念として掲げ、自衛隊の活動も含め積極的に貢献していく姿勢を強調。軍事的に台頭する中国への対応も重視したとされている。安保戦略を踏まえた「防衛計画の大綱」と5年間の具体的整備計画である「中期防衛力整備計画」も決めた。政府は国家安全保障戦略では、武器輸出3原則の見直し、離島防衛に力点を置く防衛大綱、そして、今後5年間で無人偵察機やオスプレイの導入などの中期防衛力整備計画を閣議決定した。

集団的自衛権行使が前提？

12月18日、毎日新聞は安倍首相の提唱する「積極的平和主義」に疑問を投げかけている。安倍首相は「積極的平和主義によって、今まで以上に国際社会の平和と安定のために貢献していきたい」というが、一体どこで何をやろうとしているのかが明確ではないとしている。この中で、首相周辺は「実際には集団的自衛権が、積極的平和主義の重要な要素になる」と明言しているとも記載されている。つまり、集団的自衛権を先取りした施策が先行されているということになる。私たちは国民的な議論を抜きにして、既成事実が次々とつくられていくことの、危険性を訴えていかなければなりません。

何を目指す、愛国心の強制？

同日の社説では、戦略の中に「我が国と郷土を愛する心を養う」ことが盛り込まれていて、そのために学校教育や社会啓発運動が検討されていることに懸念の意志を示しています。国の愛し方は人それぞれであり、学校教育などを通じて愛国心を押しつけたり、従わない者が批判されたりする事態につながるのではないだろうか？ 安倍首相は愛国心の明記によって、何を目指しているのでしょうか？ 私たちは大いに警戒しなければなりません！

武器輸出3原則も風前の灯か？

さらに戦略の中では、武器輸出3原則も緩和する方向で見直し、新たな原則を定めることが盛り込まれたことも記載されています。社説は安倍政権の施策があまりに防衛に偏りすぎている、外交と防衛はバランスよく車の両輪で進めなければならないと、むしろ外交力の強化を訴えています。安倍政権の最終的な目的は平和憲法を改悪することにつきまします。今進められている、これら安倍政権の一連の施策は、平和憲法に対する攻撃に他なりません。私たちは平和憲法を守るためにも、安倍政権の危険性を訴えていこうではありませんか！